

UN FILM DE CLAUDE LELOUCH
LES UNS ET LES AUTRES





ボレロ(モーリス・ラヴェル)
 ソナタ/月の光(ベートーヴェン)
 交響曲第七番(ベートーヴェン)
 前奏曲(フランツ・リスト)
 夜想曲(フレデリック・ショパン)
 交響曲第一番(ヨハン・ブラームス)

レ・ザン・エ・レ・ソートル(フランシス・レイ)
 パリ・テ・ソートル(フランシス・レイ)
 アン・バルファン・ド・ファン・ドゥ・モンド(ミシェル・ルグラン)
 ボティ・アンド・ソウル・インコーポレイト(ミシェル・ルグラン)
 サラ(ミシェル・ルグラン)
 パリ・テ・アキュラス(ジャン・イアンヌ)



製作 ■ 監督 ■ 脚本クロード・ルルーシュ / 音楽 ■ フランシス・レイ + ミシェル・ルグラン

ジェームス・カーン / ロベール・オッセン / ニコール・ガルシア / ジェラルディン・チャップリン / ジョルジュ・ドン
 エブリーヌ・ブイックス / レイモン・ベルグラン / ジャン＝クロード・ブリアリ / 日本ヘラルド映画<カラー作品>フランス映画

ドルビーステレオ



IN SELECTED THEATRES



愛と哀しみのボレロ

10月10日(祝)ロードショー*特別鑑賞券1200円発売中

伊勢丹会館隣り

新宿ピカデリー (352) 1771

●堂々3時間の超大作です!良いお席をお早目にどうぞ。お楽にご覧になれる指定席発売中。電話予約も申受中。上映時間(連日) 11:10 2:40 6:10

UN FILM DE CLAUDE LÉLOUCH
LES UNS ET LES AUTRES

愛と哀しみのポレロ

か い せ つ

どんな世界でもそうだが、昨日、新しくなったものは今日、色褪せて見え、今日生き／＼していたものが、明日、疲労の影をわずかに見せたりする。

映画もまたそうだ。昨日、饒舌だったものが、今日寡黙になり、今日、寡黙だったものが、突然、ことばを取り戻す。フランス映画が、ことばと豊かな感情と生き／＼した情熱を取り戻して、私たちの目の前にその「雄姿」を現わした。「愛と哀しみのポレロ」。クロード・ルルーシュ監督1981年度作品。3時間4分の大型作品。

流れはアメリカ映画からフランス映画へ。ルルーシュ監督、得意の華麗な映像とあふれる音楽で新しい映像の幕開けを高らかに告げる記念碑的作品である。

名づけて、ルルーシュの映像シンフォニー「愛と哀しみのポレロ」

—— 人生は愛と哀しみの連続だ。どんな人だつて愛だけで満ちているとは言えないし、また哀しみだけでもない。愛と哀しみが切れ／＼にやってきて、その人の人生を形成していく。音楽にたとえれば、ラベルのポレロのようだ——。四つの国籍の、四つの家族の45年間にわたる、流転と別れとめぐりあいとが、音楽と、バレエによって描かれて、観客はこの大河ドラマに身をゆだねながら、このテーマに到達する。それは多分、これまで、誰もが会おうことになかった新しい映像体験であると言っておこう。

1981年、カンヌ国際映画祭に出品、惜しくもグランプリは逃したが、最終日の試写のあと、このエネルギーで絢爛たる作品に反響は少なかつたと伝えられる。製作、脚本、監督はクロード・ルルーシュ。彼はこの作品の構想と、準備に5年をかけ撮影は79年の秋から81年の冬まで、約1年4ヶ月をかけた。

音楽構成、音楽監督にミシェル・ルグラン、フランシス・レイの2人。いうまでもない。フランス映画音楽界を代表する二大巨匠である。出演はロベール・オッセン、ニコール・ガルシア、エブリーヌ・ブイックス、フランシス・ユステール、ジャンクロード・ブリアリ、マニエル・ジェランなどのフランス勢に、アメリカから、ジェラルディン・チャップリン、ジェームス・カーン、ポーランドからダニエル・オルブリフスキ、さらにブエノス・アイレス生まれの、世界的バレエ・ダンサー、ジョルジュ・ドン、ベルギー生まれのバレリーナ、リタ・ポールブルドなど多彩。四つの国籍の違う人々の話らしくその出演者もまたインタナショナルである。

全体の振り付けは、バレエ界の鬼才と言われて、20世紀バレエ団の主宰者でもあるモーリス・ベジャール。彼の振り付けでジョルジュ・ドンが踊るエンディングの、17分間にわたるポレロのシーンは大圧巻。

全体で演奏される曲目、舞踏はリストを参照されたい。

ス ト ー リ ー

四つの家族の45年間に及ぶストーリーなので、左ページの、世界史年表のような表をご覧いただくのがいちばんいいと考えるが、おおまかなストーリーはこうである。

1936年、モスクワ。ポリシヨイ・バレエ団のオーディションで、惜しくも選外となった少女タチアナ(リタ・ポールブルド)。その彼女と結婚した選考委員ボリス・イトビッチ(ジョルジュ・ドン)。彼らのあいだの一粒種セルゲイ(J・ドン二役)。彼はやがて国際的バレエダンサーとなる。このダンサーはルドルフ・ヌレエフがモデルと思われる。

1937年、パリ。キャバレエ「フォリー・ベルジェール」の楽団員ピアノリストのシモン(ロベール・オッセン)とバイオリニストのアンヌ(ニコール・ガルシア)が結婚。やがてナチのユダヤ人狩りで、シモンは収容所で死亡。生き別れになった息子(オッセン二役)は牧師に育てられ、弁護士として成功する。後、精神病院に入院した母親と再会。

1938年、ベルリン。ナチ高官の前で、ベートーベンの「月光」を弾いた、将来性豊かな音楽家カール(ダニエル・オルブリフスキ)。彼はやがて指揮者として大成し、世界的な指揮者となる。カールは、ヘルベルト・フォン・カラヤンがモデルだと思われる。

1939年、ニューヨーク。陽気なヤンキー、ジャズ・ミュージシャンのジャック・グレン(ジェームス・カーン)。彼は今、ラジオの生放送で、愛妻スーザン(ジェラルディン・チャップリン)に誕生日の祝福のメッセージを述べたところだ。彼もやがてヨーロッパ戦線に参戦。無事帰国すると、戦後、スウィング・ジャズの第一人者となる。娘サラ(G・チャップリン二役)はジャズボーカリストとして成功し、親子二代にわたってジャズ界の名士となる。

このモデルはグレン・ミラーだと思われる。その他、エディット・ピアフを思わせる、薄幸のシャンソン歌手、エブリーヌ(エブリーヌ・ブイックス)がやはり親子二代で登場する。これらの音楽家が、それ／＼の人生を、それぞれの場所で送る。それらはすべて苛酷な戦争と、辛い戦後を過ごすのである。

そして、それ／＼が、80年のパリ、トロカデロ広場で行なわれるユニセフのチャリティ・コンサートに集うことになる。

踊られるのはラベルのポレロである。それはまさしく、ベートーベンの第9シンフォニーのテーマのごとく、苦悩を通して歓喜に至るといふ表現がいちばんふさわしい。

それは、現代という時代を生きてきた人々のひとしいテーマと感慨だ。



モスクワ(ソビエト)

1936 ■ **ボリス・イトビッチ**
ボリショイバレエ団の選考委員の一人

1941 ■ **セルゲイ・イトビッチ**
セルゲイ・イトビッチ
ハリで踊り大成功を収める。母タチアナに涙の電話をするセルゲイ。しかしその後空港でフランスに亡命。

1941 ■ **タチアナ**
ボリショイバレエ団のスターバレリーナ

1945 ■ **再婚の夫**
タチアナはボリショイバレエ劇場の教師となり息子セルゲイも教え子となる。再婚

パリ(フランス)

1937 ■ **シモン・メイヤー**
フォーリー・ベルジェールのピアニスト

1941 ■ **男の子誕生** **ダビッド** と名付ける

1942 ■ **ナチ強制収容所へ** 送られる。途中、ダビッドを線路にすてる。のちに神父に育てられ成人。

1943 ■ **シモンは妻アンヌの演奏する前でガス室に入れられ処刑。**

1945 ■ **妻・離婚**
アンヌ、ハリにもどり捨てた子供を探しまわす。再びハイリンは弾かずアコーディオンで生計をたてる。その後心労の果て精神病院へ。

1945 ■ **エブリーヌ**
アルジェリア戦争から帰還。弁護士として成功し、「死と死」を出版。両親の昔の仲間に出生の秘密を明かされ母と邂逅する。

1945 ■ **エディット**
パリの歌手とカールの私生児。エブリーヌは敵兵と情交したことで、両親や故郷に受け入れられず、自殺。エディットは祖父母に育てられる。パリのダンス・スタジオで働いた。テレビの女性リポーターになる。

1960 ■ **ロベール・ブラ**
ロベール・ブラの息子。フランス海軍除隊後歌手となる。ユニセフでサラとデュエットでボレロを歌う。

1960 ■ **ダンサー**
セルゲイ・イトビッチ

1960 ■ **指揮者**
カール・クレマー

1960 ■ **歌手**
サラ・グレン (女性ボーカル)
パトリック・ブラ

1960 ■ **TVアナウンサー**
エディット
登場人物全員

ベルリン(ドイツ)

1938 ■ **カール・クレマー**
ピアニスト。ナチ将校の前で演奏し、ナチの宣伝相の握手をたまる。

1940 ■ **息子**
ベルリンで爆死。

1940 ■ **マгда・クレマー**
マгдаは妊娠中

1945 ■ **カール、捕虜から解放されベルリンに帰るが、子供は死んでいた。**

1945 ■ **カール、ハリの占領軍軍楽隊長として活躍。ハリジェヌの歌手エブリーヌと知り合う。**

1960 ■ **指揮者として世界的に有名になったカールは、ニューヨークでデビューするが、観客はただの2人。演奏が終わるとナチ協力者の証拠としての写真が天井からふってくる。**

ニューヨーク(アメリカ)

1939 ■ **ジャック・グレン**
アメリカのジャズバンドリーダー。ラジオ放送の夜、妻が女兒サラを生む。大戦が勃発する。

1944 ■ **ジェイソン・グレン**
妹サラのマネージャー。後年自殺未遂。

1944 ■ **サラ**
母の死後歌手になる。世界的に有名になるが、何回かの結婚・離婚をくり返す。唯一の支えは15才の息子からの電話である。

1944 ■ **スーザン**
グレンのフランス人妻。後に自動車事故死。

1944 ■ **ジャックはバラシューでフランスに降下。前線の将校に合流し自らバンドを指揮する。パリ解放の日はジャックのバンドでパリジャンは踊り狂った。**

その他の傍役たち

■ **フランス** エブリーヌのいたクラブの支配人。ムッシュー・レイモン。

■ **アメリカ** グレンの隣家の双子兄弟。共に出征して空挺部隊で戦死。

■ **アルジェリア戦争の仲間**
ジャック(女教師の息子)→馬キチ
フィリップ→ボクサー
リシャール→後に刑事被告人として刑務所暮らし
フランシス(ムッシュー・レイモンの息子)→医者

歴史上の出来事

1936 ● 日米開戦

1937 ● ヒトラー、ロシアに攻撃開始

1938 ● ヒトラー、オーストリア侵襲

1939 ● ドイツ、フランスに入城

1940 ● 英・仏、独軍戦布告

1941 ● 9月、ドイツ軍ポーランド侵襲

1943 ● ヒトラー、オーストリア侵襲

1944 ● ドイツ、フランスに入城

1945 ● 6月、ドゴール、パリ入城

1945 ● 8月、ドゴール、パリ入城

1945 ● 9月、ドイツ軍降参

1945 ● 10月、パリ解放

1946 ● 10月、パリ解放

1947 ● 10月、パリ解放

1948 ● 10月、パリ解放

1949 ● 10月、パリ解放

1950 ● 10月、パリ解放

1951 ● 10月、パリ解放

1952 ● 10月、パリ解放

1953 ● 10月、パリ解放

1954 ● 10月、パリ解放

1955 ● 10月、パリ解放

1956 ● 10月、パリ解放

1957 ● 10月、パリ解放

1958 ● 10月、パリ解放

1959 ● 10月、パリ解放

1960 ● 10月、パリ解放

1961 ● 10月、パリ解放

1962 ● 10月、パリ解放

1963 ● 10月、パリ解放

1964 ● 10月、パリ解放

1965 ● 10月、パリ解放

1966 ● 10月、パリ解放

1967 ● 10月、パリ解放

1968 ● 10月、パリ解放

1969 ● 10月、パリ解放

1970 ● 10月、パリ解放

1971 ● 10月、パリ解放

1972 ● 10月、パリ解放

1973 ● 10月、パリ解放

1974 ● 10月、パリ解放

1975 ● 10月、パリ解放

1976 ● 10月、パリ解放

1977 ● 10月、パリ解放

1978 ● 10月、パリ解放

1979 ● 10月、パリ解放

1980 ● 10月、パリ解放

1981 ● 10月、パリ解放

1982 ● 10月、パリ解放

1983 ● 10月、パリ解放

1984 ● 10月、パリ解放

1985 ● 10月、パリ解放

1986 ● 10月、パリ解放

1987 ● 10月、パリ解放

1988 ● 10月、パリ解放

1989 ● 10月、パリ解放

1990 ● 10月、パリ解放

1991 ● 10月、パリ解放

1992 ● 10月、パリ解放

1993 ● 10月、パリ解放

1994 ● 10月、パリ解放

1995 ● 10月、パリ解放

1996 ● 10月、パリ解放

1997 ● 10月、パリ解放

1998 ● 10月、パリ解放

1999 ● 10月、パリ解放

2000 ● 10月、パリ解放

2001 ● 10月、パリ解放

2002 ● 10月、パリ解放

2003 ● 10月、パリ解放

2004 ● 10月、パリ解放

2005 ● 10月、パリ解放

2006 ● 10月、パリ解放

2007 ● 10月、パリ解放

2008 ● 10月、パリ解放

2009 ● 10月、パリ解放

2010 ● 10月、パリ解放

2011 ● 10月、パリ解放

2012 ● 10月、パリ解放

2013 ● 10月、パリ解放

2014 ● 10月、パリ解放

2015 ● 10月、パリ解放

2016 ● 10月、パリ解放

2017 ● 10月、パリ解放

2018 ● 10月、パリ解放

2019 ● 10月、パリ解放

2020 ● 10月、パリ解放

2021 ● 10月、パリ解放

2022 ● 10月、パリ解放

2023 ● 10月、パリ解放

2024 ● 10月、パリ解放

- シモン・メイヤー(父)、ロベール・ブラ……………ロベール・オッセン
- アンヌ・メイヤー……………ニコール・ガルシア
- スーザン(母)、サラ・グレン(娘)……………ジェラルディン・チャップリン
- カール・クレマー……………ダニエル・オルブリフスキー
- ジャック(女教師の息子)……………ジャック・ヴィルレ
- ボリス(父)、セルゲイ・イトビッチ(息子)……………ジョルジュ・ドント
- タチアナ(セルゲイの母)……………リタ・ポールブールド
- エブリーヌ(母)、エディット……………エブリーヌ・ブイックス
- マгда・クレマー(指揮者の妻)……………マーシャル・メリル
- フランス……………フランス・ユステール
- ムッシュー・レイモン……………レイモン・ベルグラン
- リドの支配人……………ジャン・クロード・ブリアリ
- ペロニク……………ファニー・アルダン
- フィリップ・ルージュ……………ジャン・クロード・ブーティエ
- リシャル……………リシャル・ボーリガン
- ニコール・クロワジール……………ニコール・クロワジール
- ジネット……………ジネット・ガルサン
- アントワーヌ神父……………ジャン・ピエール・カルフォン
- ジャンヌ……………ジュヌヴィエーヴ・ムニエ
- エディットの祖父……………ポール・フレボワ
- アレクサンドラ……………アレクサンドラ・スチュワート
- エバ……………エバ・タルラン
- パトリック・ブラ……………マニュエル・ジェラン
- キャンディス……………キャンディス・ハト
- アントワーヌ先生……………マイア・シモン
- エディットの祖母……………マルテ・ピラロンガ
- ジャック・グレン(父)、ジェイソン・グレン(息子)……………ジェームス・カーン

★——線は婚姻・親子の関係
★……線は内縁・同棲・私生児
■死亡者